



# 日刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

96.3.22 No. 4363

# 春闘第一波 ストライキ!

動労千葉は、三月二二日午後一三時より幕張電車区・習志野電車区を拠点に春闘第一波ストライキに突入する。また当日、全組合員を対象として、休日・時間外労働、所定以外の業務は一切行わないことも決定した。全組合員は一三時三〇分より千葉市民会館小ホールで開催される「九六春闘勝利、第一波スト貫徹、動労千葉総決起集会」に結集し、九六春闘勝利へ全力で闘いぬこう。

今九六春闘を動労千葉は、正念場を迎えた「国鉄決戦の年・九六年」の第一波闘争として位置づけている。その上で、闘いの課題として、①九六春闘勝利三八、〇〇〇円の大増賃上げ獲得! ②清算事業団闘争勝利、すべての被解雇者の解雇撤回! ③東日本五万人体制! 貨物七千人体制粉碎! 運転保安確立! ④強制配転者の原職復帰! 不当労働行為根絶! という四つの柱を確立した。

日経連は、「ベアなし」を前面に立てて、九六春闘に臨んだ。これに対し、連合は、おしなべてストライキをたてることもなかった。ただ、国鉄闘争を闘いぬく動労千葉、国労のみがストライキで闘おうとしている。ここに大失業攻撃をはね返す力をもった労働運動の真価がある。

国鉄決戦は、九六年に正念場を迎える。明日のストライキはその第一波だ。全支部の総決起でストライキにたち、千葉市民会館に全力で集まろう。

## 時の焦点

### 銀行救済—重税の住専処理を許すな

その2

#### 責任はどこに

あるのか

責任は住専よりむしろ、実質親会社の母体行にあることは明白である。

母体行の大罪を見ておこう。

その①は、母体行が住専に融資先を紹介、実際の融資は住専がするという仕組みの問題。「紹介」という形で危ない債券が母体行から住専に押しつけられたことが破綻の大きな原因である。

②は、母体の大手金融機関はバブル下では住専をいよいよ使いたがらバブル崩壊を前後して危ない債券を住専に押しつけて自分の力ネは引き上げ、農林系金融機関に肩代わりさせたのである。金融資本は危機に陥る時必ず他に矛盾を押しつけ、あらゆる手段をとって自分だけ生き延びようとする。住専処理法案はこうした金融機関救済のために人民の税金で延命をはかろうとするとてもない暴挙だ。

#### ヤクザと政財界

— 自民党も新進党も同罪 —

政治家(屋)どもの罪は、絶大である。その①として、バブル期とバブル崩壊後のすべての課程に責任がある。実際に首相

や蔵相、農相が、これらの全部に関与していたことからもいえる。②住専とヤクザの癒着は明白であり、この癒着構造をつくり出したのは自民党(現新進党も含め)の政治家連中である。特に八七年の住友銀行と竹下派の癒着などはその典型だ。③直接、住専関連でも膨大な裏金をせしめている。橋本が住専の大融資先の不動産グループから九〇年に一〇五万円の献金を受けた等はその氷山の一角である。

#### 「処理案」は大増税と大量首切り

橋本政権は、労働者人民の怒りの高まりでグラグラになりながらも、なんとか処理案を強行しようとしている。

与党三党は、予算委員会での強行採決に向けて、「追加措置」なるものを発表しているが、人民には消費税アップを含めた大増税をおしつけ、その返す刀で農協系で一万人・民間金融機関で一万七千人の首切りを強行するといふものだ。特に消費税率の見直しについては、九月末に5%のアップが叫ばれており、新進党の小沢などは一〇%アップさえ叫んでいる。

こうしたあくどい延命策を許すなら住専とは桁違いの清算事業団の累積債務問題では、制動

のきかないメチャクチャな攻撃に出てくることは必至であろう。そうした意味からも住専問題の労働者人民への犠牲転化を断じて許してはならない。

#### こんな資本主義は打倒せよ!

— 労働者のとるべき立場 —

住専問題に示される最も根本的問題は、日本資本主義が完全に行き詰まり、もはやどうにもならないほど破産しているということである。

バブル期では住専に群がり裏金をせしめ甘い汁を吸った連中は、今になったらシラをきり、その矛盾を労働者への重税と首切りで乗り切ろうとあがいているのである。一方労働者人民はどうか。バブル経済が崩壊し、住む家を失い、会社が倒産し口インさえ払えなくなつた人々や大失業攻撃のなかで虫ケラのように首を切られ、路頭に投げ出されている労働者…。さらには「阪神大震災」被災者の生きるための切実な要求を「自助努力」という名のもとに切りすてる。この政治の腐敗ぶりこそ、資本主義体制の末期を如実に示しているのである。

こんな資本主義は本当にブツとばさなければならぬ。大失業時代を迎え撃つ闘う労働運動の創造こそ、住専問題に対する労働者のとるべき唯一の道である。動労千葉が歩んできたこの大道をしっかりと確認し、闘う団結をうち固めよう。